

第77回優良公民館表彰



3月26日(水)、第77回優良公民館表彰の伝達式が行われ、政宗賢治教育長より表彰状が油木協働支援センターへ伝達されました。引き続き、「社会教育を基盤とした、地域づくり」を実践していきたいと思ひます。今後とも、よろしくお願ひします。

油木支所庁舎が完成しました

4月1日(火)、昨年より改修工事が行われていた「油木支所庁舎」が完成し、関係者による開所式(オープニングセレモニー)が行われました。庁舎内には、「役場油木支所」「神石高原町社会福祉協議会油木事務所」「神石高原町シルバー人材センター」「神石高原商工会」が入り、機能集積による地域の皆さんの利便性向上や生活向上への役割が期待されます。

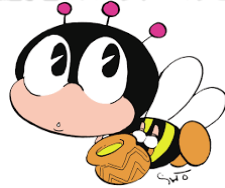


ゆきの灯り

第99号

令和7年4月発行
油木協働支援センター
TEL 82-0701
FAX 82-2228

生涯学習マスコット: マナビイ



卯月

東油木老人クラブ

男の料理教室

3月13日(木)、東油木老人クラブでは「男性が一人になっても食べて行けるように」と、今年度2回目の「男の料理教室」を開催しました。今回は「夢屋」の三上晴久さんをお願いしてハマチの捌き方を教えていただき、「刺身・アラを使ったハマチ大根」を作りました。

そして、蕎麦打ち名人打ち立ての「ざる蕎麦」と一緒に美味しく試食しながら、楽しいひと時を過ごしました。

女性会員には、「口も出さず手も出さず」、試食タイムから参加して頂き、「これは美味しい!」とのうれしい声を頂きました。

(東油木老人クラブ会長 松本彰夫)



◆「油木のちよつといい話」募集中

「心温まる話題」「元氣の出る話題」等、地域のニュースがあれば情報を提供してください。

令和7年版 秘伝! 神龍味噌

3月14日(金)、「神龍味噌杜氏」の門田茜先生の指導で「味噌作り教室」を開催しました。

今回の教室には、町内だけではなく呉市・福山市からの参加もあり、「味噌作り」に対する高い関心が伺えました。

講師から「味噌」のノウハウや保存法を学びながら、楽しく体験ができました。



「神龍味噌」さんは、「ソーだったのカンパニー」(1月)、「人生の楽園」(2月)にてTVで紹介されました。油木で活動される方のパワーが地元の元氣につながれば良いですね。

アートクラブ⑤

3月3日(月)、若林佐都子先生の指導で「アートクラブ⑤」を開催しました。

今回は前回に引き続き、和紙を使用した「ちぎり絵②」として「薔薇」をテーマに作品を作りました。

和紙を立体的に表現する手法を学びながら色紙に貼っていくと、前回の「鳥」と同じように各自それぞれに個性的な作品に仕上がっていききました。

受講生の皆さんも、自身の作品の仕上がり具合に満足そうでした。



3月のゆきキッズ

令和6年度「ゆきキッズ」の活動が終了しました。楽しく多くの思い出ができた1年でした。

3月1日(土)、小田緑先生と神石高原町女性会油木支部の皆さんの指導で「お茶教室⑥」を開催しました。

今年度最後の教室は「雛祭り茶会」として会場には「お雛様」が飾られ、子どもたちは春の雰囲気を感じながら「茶会」を楽しむことができました。

令和7年度もいろいろな活動を、楽しみながら体験して学んでいきましょう。



第67回こどもの読書週間(4/23~5/12)

標語「あいことばは ヒ・ラ・ケ・ホ・ン!」

読書は、子どもたちの知識や経験を豊かにし、知的活動を高めるだけでなく豊かな情操を育み、将来の生き方を方向づけるなど、人格形成の上で大きな役割を果たします。



お知らせ

令和7年4月1日(土)より、油木協働支援センター施設内(一部除く)は「靴の履き替えなし」でご利用いただけます。油木協働支援センター

「佐々木リョウ 広島県内23市町 完全御(音)礼TOUR in 神石高原町」開催！



3月16日(日)、佐々木リョウさんを迎えてコンサートを開催(文化イベント部主催)しました。佐々木リョウさんは昨年到现在2回目の「油木登場！」です。会場のシルトピアアリーナには県内をはじめ愛知県・熊本県・岡山県からの来場もあり、最後まで大いに盛り上がる中で今公演をもって「佐々木リョウ：広島県内23市町完全制覇！」となりました。

「新規就農者の確保で持続可能な村づくり」

平川村定住推進協議会は、「結果」全国過疎地域連盟会長賞を受賞されました。3月3日(月)、高梁市備中町より「平川村定住推進協議会」の皆さんを講師に招き、「地域づくり・農商業推進部会合同研修会」を開催しました。これは昨年10月に「移住促進・定住部会」が先進地視察として訪問し、研修した平川地区の実践を関係部会と共有して今後の取り組みに活かすことを目的に企画したものです。同会議からは江草会長様をはじめ、スタッフ4名の方に来館いただき、「ぶどう・トマト」栽培を基本とした新規就農者の平川地区への「移住者13組29名定着」という実績ノウハウや、「全国過疎問題シンポジウム」への参加報告を聞かせていただきました。今回の交流を通じて、「油木・平川」間で地域づくりの連携が進めば良いですね。



—「全国過疎地域連盟会長賞」(平川村定住推進協議会：評価のポイント)—

移住希望者が、まず通いながら平川地区での暮らしや農業を体験できる制度が整っており、その結果、移住者13組29人が全員定着している。ミスマッチを防ぎ、地域・移住者双方に良い形となっている。(総務省・一般社団法人全国過疎地域連盟)

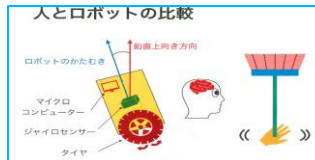
「なるほどだ！ワールド(Naruhododa! World)おもちゃが動く謎を解け！2」-油木小学校- 「学社連携・融合事業」を開催しました

3月13日(木)、橋本堅之先生・藤井真一先生の指導で油木小学校6年生を対象に「理科：出前講座」を開催し、講師手作りの「動くおもちゃ」を使用して本物体験による、理科学習「動力(エネルギー)の仕組み」のまとめを行いました。子どもたちは、いろいろな仕掛けで動くおもちゃに興味津々で、体験を通じて学習が更に深まったと思います。今回の「出前授業」には、広島県立生涯学習センター・尾道市河内公民館・町教育課からの視察、中国新聞社・町広報の取材がありました。



◆児童の感想(抜粋)

- カプセルを落とすおもちゃの動きを使って「新しいおもちゃ(鳥が卵を産むような物)」が作れるのではないかと少し考えました。
- いろんな道具を使うことでユニークな動きを知って、自分でも作ってみたいと思いました。
- 自分で作って動かすのは心配だけど、作った物が動いておもちゃとして使えたらどれだけ楽しいかなと思いました。
- 恐竜公園の観覧車が特にリアルで、まるで本物そっくりでした。



—あいさつは「魔法のことば」！— (参考：秋田県教育委員会・秋田県教育庁生涯学習課「家庭教育支援ガイドブック」)

あいさつは「魔法のことば」！ 「おはよう」から始まるすてきな一日

明るいあいさつ一言で、心が通い、相手との距離が縮まります。「おはよう」「こんにちは」「ただいま」…子どもがすすんで気持ちよくあいさつするよう、家庭や地域で親が手本を示しましょう。

まずは大人がお手本を示しましょう！

- 1 家族の間であいさつが自然にできるようにしましょう。
- 2 地域でも、親がお手本となるよう積極的にあいさつをしましょう。
- 3 子どもがあいさつできたときは、しっかりとほめてあげましょう。
- 4 子どもは一人でも進んであいさつできるようになります。

○あいさつするとこんないいことがあります！

- ・心がつながり話しやすくなる。
- ・親しくなるきっかけになる。
- ・気分がよくなったりうれしくなったりする。
- ・体の調子や機嫌がわかる。

- 防犯にも役立ちます！
- ・あいさつで元気な声を出す子どもは不審者に狙われにくい。
- ・近所の人によく覚えられるので、何かあったときに情報収集しやすい。

★地域で子どもを見守り育てましょう(油木協働支援センター)

一日の中で気持ちを伝える場面はたくさんあります！

